



2026年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元 健一郎
(コード7918、東証スタンダード市場)
問 い 合 せ 先 常務執行役員経営推進本部長 羽根 英臣
電 話 番 号 03-5155-6801

特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

2026年3月期第4四半期連結会計期間において、当社及び連結子会社にて下記のとおり特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩しをいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の特別損失の発生及びその主な内容

当社は、当第4四半期連結会計期間において、貸付金について回収可能性を検討した結果、株式会社扇屋東日本、株式会社一丁、株式会社一源及び株式会社紅とんへの貸付金に対し貸倒引当金を計上することとし、特別損失として貸倒引当金繰入額 358 百万円を計上いたしました。

また、当社の連結子会社である株式会社フードリームの株式の実質価額が著しく低下したために減損処理を行い、子会社株式評価損として 509 百万円を計上いたしました。

これらの結果等により、当事業年度の個別決算において、特別損失 874 百万円を計上いたしました。なお、当社の個別決算で計上される上記特別損失は、連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 当社の連結子会社の特別損失の発生及びその主な内容

当社の連結子会社は、当第4四半期連結会計期間において、不採算であった6店舗について閉店することを決定いたしました。加えて、将来キャッシュ・フローによる設備投資額の回収が困難と見込まれた店舗につき、固定資産の減損を実施したこと等により、減損損失 99 百万円、店舗閉鎖損失引当繰入額 8 百万円を計上することとなりました。

上記の結果、当連結会計年度において特別損失計上額は 260 百万円となりました。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

当第4四半期連結会計期間において、今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました。その結果、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に計上いたしました。これにより、当第4四半期連結会計期間における、法人税等調整額は145百万円計上しております。

4. 当社連結業績に及ぼす影響

上記特別損失につきましては、本日公表の「2026年3月期通期短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上